



2025年10月9日発行235号
三浦半島地区委員会公郷 2-1-9
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



今年は遅くまで見かけます

9月定例議会報告 縦横に市長・教育長に質問

◆生活保護の「いのちのとりで裁判」。基準の引き下げに最高裁が違法判決。国は謝罪もしていない。市長のご意見は？
◆不登校児童・生徒の健康診断はどのように行われているのか？

◆柔軟剤などの香りを不快に感じる「化学物質過敏症」の方が増えている。対応を急ぐべきでは？
◆GNF-Jの火災事故。原因究明と再発防止のため説明をしっかりと受けて市民にも報告を。

◆日産自動車の生産終了後の跡地は「平和産業港湾都市」にふさわしい利活用をしてほしい。

◆2度も起きた米兵による交通死亡事故。米軍の交通安全教育は進んでいるのか？
◆英空母の入港は「旧軍港転換計画」に反するのでは？

ご存じですか？

化学物質過敏症



洋服に付いた洗剤や柔軟剤に含まれる香料の人工化学物質によって学校で頭痛、吐き気などの症状が起こったことがあると答えた児童生徒が10.1%もいるといます。驚きですね。TVのCMでは時間差で「マイクロカプセル」が破裂して長時間香りが持続する様子が流されています。

質問の中で給食の「白衣」に柔軟剤を使用しないように教育委員会では呼びかけていることがわかりました。私は市民への啓発の講演やセミナーの計画を提案。市長、健康部長からは「検討していく」との答弁がありました。

【市議補選後の新たな議会がスタート】

自民党 15人
公明党 7人
一市民 5人
研政会 4人
共産党 3人
維新 2人
無党派 3人

「よこすか未来会議」は解消され、「一市民」と「研政会」に分離しました。
2人の新人議員は「自民党」と「無党派」となりました。

全39人中、女性議員は6人となりました。

*詳細については横須賀市議会

HP [会派別 | 横須賀市](#) をご覧ください。

長期欠席・不登校の 児童・生徒の健康診断は どうなっていますか？

教育長と質疑
を行いました。

これが実態です

全国的にも、横須賀市でも長期欠席の児童・生徒が増加しています。

横須賀市では不登校の児童・生徒は直近で 1278人(出現率 5.16%)、子どもの数は減っているのに、不登校の子どもの数は増えています。

そのうちの 404 人(1.6%)が定期健康診断を受けていません。

横須賀市は糖尿病発症リスクの市民をターゲットにして AI 活用で「ヘルスケアデータ事業」を行っていますが、私は子どもたちの検診こそ先手を打つべきと思います。

大村 「長期欠席の児童・生徒の健康診断未受診に、どう対応しているか」

教育長 「家庭訪問などして、まずは保護者と会い、学校に来てもらうことが大事」

大村 「後から、校医さんのところへ行って、検診を受けられるのか」

教育長 「内科は比較的地域にあるが、眼科、耳鼻科がない場合もある」

大村 「オンライン受診などを活用できないか」

教育長 「直接診ることが良い。若年性の背骨の湾曲、身体の歪み、児童虐待についても確認できる」

大村 「横須賀市は小児医療助成制度で 18 歳まで無料だが、学校外で検診を受けた場合、費用はどうか」

教育長 「自費で 3,000 円程度になると思われる」



地元地域に不安の声 原発燃料加工工場 = GNF-J で火災事故

【いつ】
2025 年
7 月 2 日
15 時頃

【誰が、どうした】
従業員が煙を感知。自主消火したが、最後は横須賀消防へ通報。

【その後の対応】
横須賀消防局は救急車、消防車合わせて 13 台が出勤。

【現在は・・・】
原因究明の調査と再発防止策の検討が行われ、まとめ次第横須賀市へ報告される運び。

【どこで】
横須賀市
内川 GNF-J
工場 1 階の乾燥設備作業場



一般質問において、市長へしっかりと市民と議会へ説明するように求めました。行う旨の答弁がありました。

放射性廃棄物が敷地内で溜まり続けている

「ご意見をぜひ、お寄せください。」

他会派の議員から「大村さんは必ず一般質問をやる」と決めているのか？」と聴かれたことがあります。「決めていますわけではないが、必ずテーマが出てくる」と答えました。

そうなんです！

私の一般質問の大元は市民のみなさんからの質問や要望であることがまます。今回取り上げた「化学物質過敏症」は市民からのご相談が発端でした。これはしかし、当然と言えば当然のことです。代弁者として選出されたことを自覚して、これからもこのスタンスで頑張ります。お気軽に様々なご意見ご要望をお寄せください。